



2013/8/28(水)・29(木)

彦根・米原方面での宿泊研修を実施しました!

「彦根・米原方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月28日(水)～29日(木)の夏季休業期間を利用してNPO法人滋賀医療人育成協力機構と協同で宿泊研修を実施しました。里親登録学生を含めた本学学生12名と自治医科大学の学生4名を始めとして、総勢25名での研修となりました。

1日目 滋賀県の最高峰、伊吹山に登頂 湖東地域の中核病院である彦根市立病院の見学を実施、夜は、地域の先生にご講演いただいたり、地域の方々との交流会を実施

2日目 米原市上板並地区の方々とのタウンミーティング 彦根城を見学、湖東地域の精神医療拠点である豊郷病院を訪問

滋賀医科大学

伊吹山 (登頂・見学)

彦根市立病院 (説明・見学)

交流会

宿舎

地域包括ケアセンターいぶき (地域交流・昼食)

彦根城 (見学)

豊郷病院 (説明・見学)

院長からの挨拶の後、「救急医療」と「医師の働きやすい職場」についてのお話を聞きました。その後、内科カンファレンスを再現いただき、雰囲気を実験しました。また、緩和病棟、ヘリポートを見学させていただきました。

【第1部】米原市福祉支援局 馬淵局長から「米原市の現状と10年後を見据えた医療福祉の在り方」、また、彦根市立病院 日村副院長から「在宅医療支援への取り組み」と題して、ご講演いただきました。
【第2部】研修先の先生方や里親・プチャリ親など15名の方々に、それぞれのお立場からご意見をいただくなど、情報交換や交流の場となりました。

上板並地区の住民、学生が5班にわかれ、「地域の魅力」「ケアセンターいぶきと住民の関わり」についてグループワークを実施。最後に学生が発表を行いました。昼食は、地域住民の皆さんのご厚意で、郷土料理をいただきました。

友吉名善院長による豊郷病院の歴史のお話と、院長による挨拶の後、精神科病棟、回復期リハビリテーション病棟などの院内の施設見学させていただきました。

学生の感想文より

米原市の行政の方、彦根市立病院の先生による講演では、高齢者が在宅で安心して暮らせる地域包括ケアに向けた取り組みや、患者情報共有化などによる病診連携の推進など、地域医療を支える様々な仕組みがあることを学びました。〈医学科 4年(自治医)〉

滋賀の地域医療という目標を同じくする自治医大の学生さんと色々とお話してきたのが一番の収穫でした。これから医師として自立するまでには先は長いですが、今回感じた温かい期待に応えられるよう努力していこうと、モチベーションが上がる良い研修となりました。〈医学科 1年〉

医師への必要性は、訪問する先々で感じたものでした。それぞれの場所で皆さんとても熱心に魅力を伝えて下さいました。一緒に地域をよりよくしようという職員の方の気持ちを感じました。〈医学科 1年〉

特に勉強になったのは、地域の方の生の声を聞いたことです。その中で、普段の生活についての本音を伺えたと思います。医療者として患者さんをどのように支えていくべきか、そのヒントは普段思っておられることや辛かったこと、嬉しかったことなどに隠れているのではないのでしょうか。〈医学科 3年〉

実際に彦根市立病院や豊郷病院といった医療施設に向き、そこでどのような医療やサービスが提供されているのかを知る良い機会となりました。ただ単に病気を治すだけでなく、患者さんが病院で快適な生活を送れるようなサービスが行われていました。〈医学科 1年(自治医)〉

伊吹山

訪問先で多くの先生方、そして地域の方々とお話しする機会を設けて頂きました。いつも医療者側と患者側という2つの視点から物事を考えるよう教わっている私たちにあって、そのどちらの立場でもない地域の住民の皆様とお話をする機会というのは非常に貴重であり、また地域医療を考えていく上で非常に有意義な体験となりました。〈医学科 4年〉

彦根市立病院

交流会第1部・第2部

米原市上板並地区

豊郷病院

都会に住んでいてはあまり感じることはない地域の人たちとの結びつきや、地域に密着した医療の重要さやありがたみについて知ることができました。〈医学科 1年〉

研修の様子は里親HPにも掲載しています!!

滋賀県出身でも、なかなか他の地域の医療や風土に触れることはないもので、すごく良い機会でした。また違う地域にも訪れて、様々な体験を試みたいですね。〈医学科 1年〉

地域里親学生支援のホームページ

(<http://satooya.shiga-med.ac.jp/>) をご覧ください!